

留学報告書



食堂がある校舎の写真



オーストリアの山に登った私



アフタヌーンティーに来た私

留学先国	イギリス
留学先高等教育機関名	英文：Oxford University, Hertford College 和文：
留学期間	2022年 10月 ～ 2023年 3月
留学を開始した時の学年	3年生

留学費用（概算）	
授業料（プログラム費用）	200万円
宿舍費（1か月あたり）	プログラム費用に含まれていました。
食費（1か月あたり）	2万円
通学費（1か月あたり）	0万円
教科書代	0万円
渡航旅費	20万円
保険料	5万円
その他（娯楽、旅行費含む）	50万円

滞在形態関連
1) 種類
<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ルームシェア
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋
3) 設備
<input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> お風呂（浴槽） <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> エアコン <input checked="" type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> ランドリー <input checked="" type="checkbox"/> インターネット環境 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> Studying Room <input checked="" type="checkbox"/> 宅配ボックス <input type="checkbox"/> その他（ ）
4) 住居を探した方法
<input checked="" type="checkbox"/> 海外留学先大学の指定 <input type="checkbox"/> 海外留学先大学のホームページ <input type="checkbox"/> 留学経験者に聞いて

<input type="checkbox"/> 個人的に探した <input type="checkbox"/> その他 ()
5) 大学までの利用交通機関と通学時間 (片道)
利用交通機関： <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> その他 (徒歩)
通学時間 (片道)：5分

現地情報
1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？
<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input checked="" type="checkbox"/> わからない
2) 現地で病院にかかったことはありますか？
<input type="checkbox"/> はい (利用機関名：) <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 「はい」の場合予防接種の種類： C 型髄膜炎
5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？
<input checked="" type="checkbox"/> 留学先の友人 <input checked="" type="checkbox"/> 日本にいる友人や家族 <input checked="" type="checkbox"/> 海外留学先大学の先生 <input type="checkbox"/> 海外留学先大学のカウンセラー <input type="checkbox"/> 海外留学先大学の留学担当窓口 <input type="checkbox"/> ホストファミリーや RA (レジデンスアシスタント) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (OSMA)
6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？
オックスフォードは、学生が多いためか治安も良かったと思います。日本と同じく深夜に 1 人で出歩かないなどの対策は必要です。ロンドンも、オックスフォードに比べて治安はあまり良くなかったです。友人の中に携帯を盗まれた人がいたので、携帯にストラップをつけてそれを首にかけ、本体はコートの内ポケットに入れるなどの対策をしました。また、地下鉄や有名な観光地だと人が多いから、荷物はなるべく少ない方がいいと思います。
7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？
たまに Wi-Fi が繋がらなくなったが、機械に強い現地のサポーターの人と一緒に住んでいたため、問題はすぐに解決されていました。現地のモバイル通信は、人が多いところに行くと全く繋がりませんでした。
8) 現地での資金調達はどのように行いましたか？
ビザを取得していなかったため、アルバイトなどはできませんでした。
9) 利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていくべき物がありますか？
物価がとにかく高かったので、現地調達を前提とするのはやめた方がいいと思います。徒歩圏内に、コンビニやスーパー、ショッピングモールがあったので利便性は高かったです。持っていくべきもの、ユニクロのヒートテック。日本製の物は本当に高いので、持っていくことをお勧めします。日本食は食べきれないので必要最低限がいいと思います。
10) 授業料 (またはプログラム費用) は、どのように支払いましたか？

海外送金 クレジットカード 口座振込 その他 ()

11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。

渡航について	
1) 現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学のピックアップサービス <input type="checkbox"/> 公共交通機関（バスや電車） <input type="checkbox"/> ホストファミリーのお迎え <input type="checkbox"/> その他 ()	
2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？	
<input checked="" type="checkbox"/> はい（期間： 一日 ） <input type="checkbox"/> いいえ	

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）	
履修した授業科目名	
English Literature	
授業内容や試験、授業を受けた感想について	
<p>主にシェイクスピアについて学びました。昔に使われていた英語が混じった文章を読むのが難しかったです。また、授業を踏まえた上で、ロミオとジュリエットの劇を披露する場がありました。実際に演劇指導をされている方が来て、声の出し方やどのような演技が効果的なのかを学ぶ機会もありました。「オリジナルのロミジュリ」が求められている印象が強く、自分たちで時間を合わせて準備をしなければいけなかったのが大変でした。</p>	

履修した授業科目名	
British Culture Studies	
授業内容や試験、授業を受けた感想について	
<p>絵画の表現方法や、どのように鑑賞すればいいのか講義を受けた後に実際にナショナルギャラリーに赴いて絵画を鑑賞した授業が印象に残っています。実際にみる有名な絵画への関心が高まったタイミングで鑑賞できたのが良かったです。他には、イギリスの工業の発展の歴史や、ストーンヘンジの歴史など、日本には学べない分野について勉強できたので自分の興味が広がったなど感じます。試験などはない授業でした。</p>	

履修した授業科目名	
Guided Study and Research	
授業内容や試験、授業を受けた感想について	

週に一度、金曜日にありました。基本的に自習の時間で、その週に出た宿題やレポートなどをこなしていました。先生がいてくれるので、質問もしやすい状況でした。

履修した授業科目名

Business Skills

授業内容や試験、授業を受けた感想について

後期の授業はビジネスについての授業がほとんどでした。ビジネスの場で実際に使われる英単語や表現はもちろんのこと、どのような制度があるのか、職場でどのような関係を築くべきなのかをビデオを見ながら学びました。また、それらについて自分の意見をクラスメイトと交換する場もあったのでスピーキングの練習にもなりました。テストはないです。

履修した授業科目名

TOEIC/IELTS Technique and Practice

授業内容や試験、授業を受けた感想について

初めに、TOEIC か IELTS かを選び、以降はそれぞれで授業が進んでいきました。私は TOEIC を選択し、リスニングやリーディングの問題の解き方をじっくり学びました。クラス分け後に一度と、学期末毎に通してテストを受けられたので自分の成長を実感できると思います。

履修した授業科目名

Academic Writing

授業内容や試験、授業を受けた感想について

英語のエッセイの書き方から、レポートの書き方まで学びました。前期は、どのような単語や表現を使うべきなのかを学び、後期は実際にレポートを書いてフィードバックをもらうことができました。日本のレポートとは違う英語ならではの難しさがあるのでとてもためになった授業の一つです。学期末毎にエッセイを書くテストがありました。

履修した授業科目名

English Language Focus and Development

授業内容や試験、授業を受けた感想について

生徒のフィードバックによって授業の内容が柔軟に変えられていた印象です。英語勉強者が引っかけの文法や、イディオム、日常会話などで使うフレーズについて学んだり、時にはゲームをしながら英語を話したりと学習方法に幅があり、単調ではなかったのが良かったです。テストなどは特にありません。勉強したいことは毎週金曜日に書く1週間の振り返りシートに積極的に記入したほうが良いです。

履修した授業科目名

Presentation Skills

授業内容や試験、授業を受けた感想について

半年間を通して、4回ほどクラスの前でプレゼンをする機会がありました。毎回フィードバックをもらえるのでそれを踏まえて次のプレゼンに取り組めるのが良かったです。授業ではどのようにプレゼンをするのが効果的なかを軸としてスライドの作り方や人前での話し方を学びました。授業最終日に、集大成としてプレゼンをする機会がありました。

留学体験記

<p>留学しようと決めた理由や、この留学先を選んだ理由</p>	<p>高校に通っていた時から、好きな教科が英語だったことと、両親が留学を経験しており、その話を聞いていたこともあり、大学受験の段階から留学を視野に入れていました。感染症が大流行したことが原因で、留学自体が中止の連続となってしまう、結局私が留学に行けたのは3年生の秋学期からでした。就職活動も視野に入れなければならない時期だったため、かなり悩みましたが、一生に一度しかできない経験だと思い、留学を決めました。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>せっかくイギリスに行くからと、ハリーポッターを見てから行きました。時間がなくて全部は見られませんでした。実際のロケ地を訪れた際の興奮は言葉にはできないものでした。した方がいい準備は、リスニングだと思います。私たちが学校で習ってきた英語を喋ってくれる人はほとんどいません。イギリス英語だけでなく、インド訛りや、スコットランド訛りなど、多国籍の英語に触れる機会があります。事前の勉強で完璧に聞き取れるとは言いませんが、せめてイギリス英語には耳を慣らしても良いかと思います。ちなみにインド英語はマジで分かりませんでした。</p>
<p>留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等</p>	<p>OSMA、世界の歩きかた。 OSMA は体調を崩した時に、連絡したところ丁寧に打診してくださったので、安心して休めました。 世界の歩きかたは、イギリスを旅行するときの参考になると思います。</p>
<p>大学・学生の雰囲気 (職場や同僚の雰囲気)</p>	<p>私が受講したプログラムは、実際の大学内ではなく、校舎から少し離れた大学院生用の寮の一室で開講されていました。ただ、昼食と夕食を食べるために本校舎に行く機会があります。小さめの中庭をぐるっと囲むように、現地学生用の寮と、食堂、図書館が配置されていました。残念ながら中庭の芝生は立ち入りが禁止されていましたが、基本的に学生しか入ることのできないカレッジ内は</p>

	歴史的建造物という感じで綺麗でした。また、現地の学生とは食堂で一緒になります。日本の大学生と変わらず、友達と談笑しながら食事を摂っていました。
滞在先の雰囲気	私が入っていた寮は、日本人学生専用でした。そこに、カレッジに勤めているスタッフも一緒に住み、何か困ったことがあったらすぐに声をかけられる状況にありました。キッチンも使いやすく、かなりの頻度で使用されていたと思います。夜にキッチンに行けば、大抵誰かが料理をしていたり、ご飯を食べていたりしていたので、人と話したくなれば好きな時間にキッチンに行けば良いという感じで、自分のプライベートな時間をちゃんと確保しつつ寂しくなればすぐに友達に会える環境でした。
留学先における交友関係	オックスフォード大学には様々なコミュニティがあります。その中でもジャパニーズソサエティでは、日本に興味を持っている学生が多く集まっているため、友達を作りやすいと思います。日本語を勉強している人も多いので、英語を勉強する私たちの立場になってくれる人が多く、自信を持って英語を話せました。他にも部活のようにスポーツをするソサエティもあるので、自分の好きなことをしながら英語を話せる環境に入りやすいと思います。
留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと	大学のホールにて食事が提供されますが、日本よりも油っこかったり、口に合わなかったりすることがありました。私は、食事が体に合わないことがあり、胃もたれをしたり、体調を崩してしまったりということがありました。整腸剤は必須だと思います。持っていくすぎて損はあります。ないよりもある方がいいです。それから、乾燥で咳が出たり、喉が痛くなったりすることもあるので、マスクは持っていてもいいと思います。現地にもマスクは売っていますが、私たちには値段も高く、サイズも大きかったです。
留学先における学習、課題や試験	前半は、英語を中心に、後半はビジネスの観点から英語を学びました。前期は、文法や単語を学びました。また、ディスカッションの時間が多く取られているため、英語を話す機会もたくさんありました。座学だけでなく、実際に美術館に行ったり、オックスフォードの建造物を見て回ったりした上での講義もあるので、イギリスの文化にも触れることができますと思います。後期は、英語を使ってビジネスについて学びました。実際に、自動車工場に足を運んで、自動車がができるまでの仕組みなどを見ることもできました。 また、課題は、多くはなかったです。特に前期は自分で勉強することを見つけて自分で取り組むという形だったように思います。後期は、ビジネスという馴染みのないトピックについて予習という形で課題が出ていました。プレゼンは前期も後期もありましたが、準備期間は十分に確保されていました。試験は、前期後期に分けて2回ありました。TOEIC か IELTS のテストと、トピックが与えられてそれについて 700 ワードほどのライティングを 100 分で書くというテストでした。授業をちゃんと受けていれば何の問題もないと思います。
大学外の活動（課外活動や自由時間など）	イギリスは、ミュージカルの文化が盛んであるため、ロンドンまで足を伸ばしてミュージカルを見に行っていました。本場のミュージカルというのは迫力があると同時に、英語なのでリアリティが増してよりスケールが大きかったです。アフタヌーンティ

	<p>ーも行きました。金色の装飾がキラキラしている豪華なホテルで紅茶とケーキを食べるという経験もできました。もちろん値段は高かったですが、一生に一度できるかできないかの体験なので、お金をかける価値はあると思います。</p>
<p>留学を志す人へメッセージやアドバイス</p>	<p>基本的に何とかなります。忘れ物をしても現地で買えます。困ったことがあれば周りの人は助けてくれます。言語の違う場所に住むというのは不安があると思いますが、簡単でもいいので明確な目標と、楽しむという気持ちさえあれば、充実した留学生活は送れます。アドバイスをするのであればやりたいことは全部やっから帰ってきてください。忙しいスケジュールであると思いますが、予定は詰めてでもやりたいことをやるべきだと思います。半年は意外と短いです。イギリスで留学する経験は貴重だと思います。後悔は残さず、楽しく、心身ともに健康で帰ってくれば完璧です！！</p>